

## 令和8年度新規地区採択チェックリスト

### (8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名: 秋田県)(地区名: 小杉山)

#### 1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
5. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の( )には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名: 秋田県)(地区名: 小杉山)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	2,417	A
			スマート農業技術等の導入	—	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	81.3	A
			①担い手の米の生産コストの労働費 ②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg 割	1,526 3	A
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	15,364.3	A
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	6,250.0	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	100.0	A
			担い手への面的集積率	%	99.1	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	100.0 15.1	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	2,127	A
農業の高付加価値化		①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い	—	○ ○	A	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	○	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	○	A	
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a —	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	B	B
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する関係市町村の同意状況 ②事業推進協議会から着工要望の提出 ③維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ④事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	— ○	B
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	88.9	A

## 小杉山地区の事業の効用に関する説明資料

### 1 総費用総便益比の算定

#### (1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	3,105,133
当該事業による費用	②	2,356,864
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	748,269
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	48年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	3,946,164
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.27

#### (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点)	当該事業に よる費用	関連事業 による費用	再整備費	資産価額 (評価期間 終了時点)	総費用
		①	②	③	④	⑤	⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	区画整理	0	2,356,864	-	686,645	178,093	2,865,416
	計	0	2,356,864	-	686,645	178,093	2,865,416
そ の 他	頭首工	0	-	-	116,074	4,836	111,238
	揚水機	0	-	-	38,978	4,877	34,101
	ため池	0	-	-	36,887	6,359	30,528
	用水路	0	-	-	71,431	7,581	63,850
	計	0	-	-	263,370	23,653	239,717
合 計		0	2,356,864	-	950,015	201,746	3,105,133

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 ( 便 益 ) 額	効果の要因
<b>食料の安定供給の確保に関する効果</b>			
作物生産効果		55,193	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		155,723	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 11,703	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
<b>農業の持続的発展に関する効果</b>			
耕作放棄防止効果		950	区画整理を実施したことにより、耕作放棄の発生が防止され、農産物の生産及び多面的機能が維持される効果
<b>その他の効果</b>			
国産農産物安定供給効果		12,550	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		212,713	

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	43,026	12,167	0.0	0	43,026	41,371	
2	R9	1.0816	2	43,026	12,167	0.0	0	43,026	39,780	
3	R10	1.1249	3	43,026	12,167	29.0	3,528	46,554	41,385	
4	R11	1.1699	4	43,026	12,167	58.6	7,130	50,156	42,872	
5	R12	1.2167	5	43,026	12,167	86.7	10,549	53,575	44,033	
6	R13	1.2653	6	43,026	12,167	94.8	11,534	54,560	43,120	
7	R14	1.3159	7	43,026	12,167	99.4	12,094	55,120	41,888	
8	R15	1.3686	8	43,026	12,167	99.8	12,143	55,169	40,311	
9	R16	1.4233	9	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	38,778	
10	R17	1.4802	10	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	37,288	
11	R18	1.5395	11	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	35,851	
12	R19	1.6010	12	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	34,474	
13	R20	1.6651	13	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	33,147	
14	R21	1.7317	14	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	31,872	
15	R22	1.8009	15	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	30,647	
16	R23	1.8730	16	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	29,468	
17	R24	1.9479	17	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	28,335	
18	R25	2.0258	18	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	27,245	
19	R26	2.1068	19	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	26,198	
20	R27	2.1911	20	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	25,190	
21	R28	2.2788	21	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	24,220	
22	R29	2.3699	22	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	23,289	
23	R30	2.4647	23	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	22,393	
24	R31	2.5633	24	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	21,532	
25	R32	2.6658	25	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	20,704	
26	R33	2.7725	26	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	19,907	
27	R34	2.8834	27	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	19,142	
28	R35	2.9987	28	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	18,406	
29	R36	3.1187	29	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	17,697	
30	R37	3.2434	30	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	17,017	
31	R38	3.3731	31	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	16,363	
32	R39	3.5081	32	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	15,733	
33	R40	3.6484	33	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	15,128	
34	R41	3.7943	34	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	14,546	
35	R42	3.9461	35	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	13,987	
36	R43	4.1039	36	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	13,449	
37	R44	4.2681	37	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	12,932	
38	R45	4.4388	38	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	12,434	
39	R46	4.6164	39	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	11,956	
40	R47	4.8010	40	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	11,496	
41	R48	4.9931	41	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	11,054	
42	R49	5.1928	42	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	10,629	
43	R50	5.4005	43	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	10,220	
44	R51	5.6165	44	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	9,827	
45	R52	5.8412	45	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	9,449	
46	R53	6.0748	46	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	9,086	
47	R54	6.3178	47	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	8,736	
48	R55	6.5705	48	43,026	12,167	100.0	12,167	55,193	8,400	
合計 (総便益額)									1,132,985	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	宮農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果		計		左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		
1	R8	1.0400	1	△ 5,989	161,712	0.0	0	△ 5,989	△ 5,759	
2	R9	1.0816	2	△ 5,989	161,712	0.0	0	△ 5,989	△ 5,537	
3	R10	1.1249	3	△ 5,989	161,712	29.0	46,896	40,907	36,365	
4	R11	1.1699	4	△ 5,989	161,712	58.6	94,763	88,774	75,882	
5	R12	1.2167	5	△ 5,989	161,712	86.7	140,204	134,215	110,311	
6	R13	1.2653	6	△ 5,989	161,712	94.8	153,303	147,314	116,426	
7	R14	1.3159	7	△ 5,989	161,712	99.4	160,742	154,753	117,602	
8	R15	1.3686	8	△ 5,989	161,712	99.8	161,389	155,400	113,547	
9	R16	1.4233	9	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	109,410	
10	R17	1.4802	10	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	105,204	
11	R18	1.5395	11	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	101,152	
12	R19	1.6010	12	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	97,266	
13	R20	1.6651	13	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	93,522	
14	R21	1.7317	14	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	89,925	
15	R22	1.8009	15	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	86,470	
16	R23	1.8730	16	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	83,141	
17	R24	1.9479	17	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	79,944	
18	R25	2.0258	18	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	76,870	
19	R26	2.1068	19	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	73,914	
20	R27	2.1911	20	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	71,071	
21	R28	2.2788	21	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	68,336	
22	R29	2.3699	22	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	65,709	
23	R30	2.4647	23	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	63,181	
24	R31	2.5633	24	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	60,751	
25	R32	2.6658	25	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	58,415	
26	R33	2.7725	26	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	56,167	
27	R34	2.8834	27	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	54,007	
28	R35	2.9987	28	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	51,930	
29	R36	3.1187	29	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	49,932	
30	R37	3.2434	30	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	48,012	
31	R38	3.3731	31	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	46,166	
32	R39	3.5081	32	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	44,390	
33	R40	3.6484	33	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	42,683	
34	R41	3.7943	34	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	41,041	
35	R42	3.9461	35	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	39,463	
36	R43	4.1039	36	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	37,945	
37	R44	4.2681	37	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	36,485	
38	R45	4.4388	38	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	35,082	
39	R46	4.6164	39	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	33,733	
40	R47	4.8010	40	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	32,436	
41	R48	4.9931	41	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	31,188	
42	R49	5.1928	42	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	29,988	
43	R50	5.4005	43	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	28,835	
44	R51	5.6165	44	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	27,726	
45	R52	5.8412	45	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	26,659	
46	R53	6.0748	46	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	25,634	
47	R54	6.3178	47	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	24,648	
48	R55	6.5705	48	△ 5,989	161,712	100.0	161,712	155,723	23,700	
合計 (総便益額)									2,810,968	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 19,929	8,226	0.0	0	△ 19,929	△ 19,163	
2	R9	1.0816	2	△ 19,929	8,226	0.0	0	△ 19,929	△ 18,425	
3	R10	1.1249	3	△ 19,929	8,226	29.0	2,386	△ 17,543	△ 15,595	
4	R11	1.1699	4	△ 19,929	8,226	58.6	4,820	△ 15,109	△ 12,915	
5	R12	1.2167	5	△ 19,929	8,226	86.7	7,132	△ 12,797	△ 10,518	
6	R13	1.2653	6	△ 19,929	8,226	94.8	7,798	△ 12,131	△ 9,587	
7	R14	1.3159	7	△ 19,929	8,226	99.4	8,177	△ 11,752	△ 8,931	
8	R15	1.3686	8	△ 19,929	8,226	99.8	8,210	△ 11,719	△ 8,563	
9	R16	1.4233	9	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 8,222	
10	R17	1.4802	10	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 7,906	
11	R18	1.5395	11	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 7,602	
12	R19	1.6010	12	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 7,310	
13	R20	1.6651	13	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 7,028	
14	R21	1.7317	14	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 6,758	
15	R22	1.8009	15	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 6,498	
16	R23	1.8730	16	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 6,248	
17	R24	1.9479	17	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 6,008	
18	R25	2.0258	18	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 5,777	
19	R26	2.1068	19	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 5,555	
20	R27	2.1911	20	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 5,341	
21	R28	2.2788	21	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 5,136	
22	R29	2.3699	22	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 4,938	
23	R30	2.4647	23	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 4,748	
24	R31	2.5633	24	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 4,566	
25	R32	2.6658	25	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 4,390	
26	R33	2.7725	26	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 4,221	
27	R34	2.8834	27	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 4,059	
28	R35	2.9987	28	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 3,903	
29	R36	3.1187	29	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 3,753	
30	R37	3.2434	30	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 3,608	
31	R38	3.3731	31	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 3,470	
32	R39	3.5081	32	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 3,336	
33	R40	3.6484	33	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 3,208	
34	R41	3.7943	34	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 3,084	
35	R42	3.9461	35	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 2,966	
36	R43	4.1039	36	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 2,852	
37	R44	4.2681	37	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 2,742	
38	R45	4.4388	38	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 2,637	
39	R46	4.6164	39	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 2,535	
40	R47	4.8010	40	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 2,438	
41	R48	4.9931	41	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 2,344	
42	R49	5.1928	42	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 2,254	
43	R50	5.4005	43	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 2,167	
44	R51	5.6165	44	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 2,084	
45	R52	5.8412	45	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 2,004	
46	R53	6.0748	46	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 1,926	
47	R54	6.3178	47	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 1,852	
48	R55	6.5705	48	△ 19,929	8,226	100.0	8,226	△ 11,703	△ 1,781	
合計 (総便益額)									△ 272,952	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	耕作放棄防止効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	950	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	950	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	950	29.0	276	276	245	
4	R11	1.1699	4	-	950	58.6	557	557	476	
5	R12	1.2167	5	-	950	86.7	824	824	677	
6	R13	1.2653	6	-	950	94.8	901	901	712	
7	R14	1.3159	7	-	950	99.4	944	944	717	
8	R15	1.3686	8	-	950	99.8	948	948	693	
9	R16	1.4233	9	-	950	100.0	950	950	667	
10	R17	1.4802	10	-	950	100.0	950	950	642	
11	R18	1.5395	11	-	950	100.0	950	950	617	
12	R19	1.6010	12	-	950	100.0	950	950	593	
13	R20	1.6651	13	-	950	100.0	950	950	571	
14	R21	1.7317	14	-	950	100.0	950	950	549	
15	R22	1.8009	15	-	950	100.0	950	950	528	
16	R23	1.8730	16	-	950	100.0	950	950	507	
17	R24	1.9479	17	-	950	100.0	950	950	488	
18	R25	2.0258	18	-	950	100.0	950	950	469	
19	R26	2.1068	19	-	950	100.0	950	950	451	
20	R27	2.1911	20	-	950	100.0	950	950	434	
21	R28	2.2788	21	-	950	100.0	950	950	417	
22	R29	2.3699	22	-	950	100.0	950	950	401	
23	R30	2.4647	23	-	950	100.0	950	950	385	
24	R31	2.5633	24	-	950	100.0	950	950	371	
25	R32	2.6658	25	-	950	100.0	950	950	356	
26	R33	2.7725	26	-	950	100.0	950	950	343	
27	R34	2.8834	27	-	950	100.0	950	950	329	
28	R35	2.9987	28	-	950	100.0	950	950	317	
29	R36	3.1187	29	-	950	100.0	950	950	305	
30	R37	3.2434	30	-	950	100.0	950	950	293	
31	R38	3.3731	31	-	950	100.0	950	950	282	
32	R39	3.5081	32	-	950	100.0	950	950	271	
33	R40	3.6484	33	-	950	100.0	950	950	260	
34	R41	3.7943	34	-	950	100.0	950	950	250	
35	R42	3.9461	35	-	950	100.0	950	950	241	
36	R43	4.1039	36	-	950	100.0	950	950	231	
37	R44	4.2681	37	-	950	100.0	950	950	223	
38	R45	4.4388	38	-	950	100.0	950	950	214	
39	R46	4.6164	39	-	950	100.0	950	950	206	
40	R47	4.8010	40	-	950	100.0	950	950	198	
41	R48	4.9931	41	-	950	100.0	950	950	190	
42	R49	5.1928	42	-	950	100.0	950	950	183	
43	R50	5.4005	43	-	950	100.0	950	950	176	
44	R51	5.6165	44	-	950	100.0	950	950	169	
45	R52	5.8412	45	-	950	100.0	950	950	163	
46	R53	6.0748	46	-	950	100.0	950	950	156	
47	R54	6.3178	47	-	950	100.0	950	950	150	
48	R55	6.5705	48	-	950	100.0	950	950	145	
合計 (総便益額)									17,261	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	9,876	2,674	0.0	0	9,876	9,496	
2	R9	1.0816	2	9,876	2,674	0.0	0	9,876	9,131	
3	R10	1.1249	3	9,876	2,674	29.0	775	10,651	9,468	
4	R11	1.1699	4	9,876	2,674	58.6	1,567	11,443	9,781	
5	R12	1.2167	5	9,876	2,674	86.7	2,318	12,194	10,022	
6	R13	1.2653	6	9,876	2,674	94.8	2,535	12,411	9,809	
7	R14	1.3159	7	9,876	2,674	99.4	2,658	12,534	9,525	
8	R15	1.3686	8	9,876	2,674	99.8	2,669	12,545	9,166	
9	R16	1.4233	9	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	8,818	
10	R17	1.4802	10	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	8,479	
11	R18	1.5395	11	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	8,152	
12	R19	1.6010	12	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	7,839	
13	R20	1.6651	13	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	7,537	
14	R21	1.7317	14	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	7,247	
15	R22	1.8009	15	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	6,969	
16	R23	1.8730	16	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	6,700	
17	R24	1.9479	17	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	6,443	
18	R25	2.0258	18	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	6,195	
19	R26	2.1068	19	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	5,957	
20	R27	2.1911	20	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	5,728	
21	R28	2.2788	21	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	5,507	
22	R29	2.3699	22	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	5,296	
23	R30	2.4647	23	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	5,092	
24	R31	2.5633	24	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	4,896	
25	R32	2.6658	25	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	4,708	
26	R33	2.7725	26	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	4,527	
27	R34	2.8834	27	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	4,353	
28	R35	2.9987	28	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	4,185	
29	R36	3.1187	29	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	4,024	
30	R37	3.2434	30	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	3,869	
31	R38	3.3731	31	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	3,721	
32	R39	3.5081	32	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	3,577	
33	R40	3.6484	33	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	3,440	
34	R41	3.7943	34	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	3,308	
35	R42	3.9461	35	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	3,180	
36	R43	4.1039	36	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	3,058	
37	R44	4.2681	37	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	2,940	
38	R45	4.4388	38	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	2,827	
39	R46	4.6164	39	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	2,719	
40	R47	4.8010	40	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	2,614	
41	R48	4.9931	41	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	2,513	
42	R49	5.1928	42	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	2,417	
43	R50	5.4005	43	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	2,324	
44	R51	5.6165	44	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	2,234	
45	R52	5.8412	45	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	2,149	
46	R53	6.0748	46	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	2,066	
47	R54	6.3178	47	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	1,986	
48	R55	6.5705	48	9,876	2,674	100.0	2,674	12,550	1,910	
合計 (総便益額)									257,902	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

## 2 年効果額の算定方法

### (1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、加工用米、スイートコーン、だいこん

○年効果額算定式

年効果額 = 単収増加年効果額<sup>※1</sup> + 作付増減年効果額<sup>※2</sup>

※1 単収増加年効果額 = 作付面積 × (事業ありせば単収 - 事業なかりせば単収) × 単価 × 単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額 = (事業ありせば作付面積 - 事業なかりせば作付面積) × 単収 × 単価 × 作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③ = ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤ = ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤×⑥	
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②						
水稻	新設	ha	ha	ha	単収増(乾田化)	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円	
				47.4	47.4	47.4	594	630	36	17.1	-	-	-	-
				47.4	47.4	47.4	594	606	12	5.7	-	-	-	-
	更新	ha	ha	ha	単収増(水管理改良)	-	-	-	22.8	217	4,947	89	4,403	
				47.4	47.4	47.4	249	594	345	163.5	-	-	-	-
				47.4	47.4	47.4	-	-	-	163.5	217	35,480	89	31,577
				水稻計	-	-	-	186.3	-	40,427	-	35,980		
加工用米	新設	24.7	20.7	20.7	単収増(乾田化)	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円	
				20.7	20.7	20.7	594	630	36	7.5	-	-	-	-
				20.7	20.7	20.7	594	606	12	2.5	-	-	-	-
				△ 4.0	△ 4.0	△ 4.0	-	-	-	10.0	156	1,560	86	1,341
	更新	24.7	24.7	24.7	単収増(水管理改良)	-	-	-	△ 23.8	-	-	-	-	
				24.7	24.7	24.7	-	-	-	△ 23.8	156	△ 3,713	-	-
				加工用米計	-	-	-	71.4	-	11,138	-	12,771		
スイートコーン	新設	0.2	10.0	0.2	単収増(乾田化)	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円	
				0.2	0.2	0.2	570	1,500	930	1.9	-	-	-	-
				9.8	9.8	9.8	-	-	-	1.9	211	401	91	365
				9.8	9.8	9.8	-	-	-	147.0	-	-	-	-
	更新	0.2	0.2	0.2	単収増(湿潤かんがい)	-	-	-	147.0	211	31,017	17	5,273	
				0.2	0.2	0.2	496	570	74	0.1	-	-	-	-
				スイートコーン計	-	-	-	0.1	211	21	91	19		
				スイートコーン計	-	-	-	149.0	-	31,439	-	5,657		
だいこん	新設	-	2.0	2.0	作付増	-	-	-	29.3	-	-	-	-	
				2.0	2.0	2.0	-	-	-	29.3	116	3,399	12	408
				2.0	2.0	2.0	-	-	-	29.3	-	3,399	-	408
				だいこん計	-	-	-	29.3	-	3,399	-	408		

水田計	新設	72.3	80.1								37,611	11,790
	更新	72.3	72.3								48,792	43,026
スイートコーン	新設	-	0.7	0.7	作付増	-	-	1,500	10.5	-	-	-
					小計	-	-	-	10.5	211	2,216	17
					スイートコーン計	-	-	-	10.5	-	2,216	-
普通畑計	新設	-	0.7								2,216	377
	更新	-	-								-	-
	新設										39,827	12,167
	更新										48,792	43,026
	合計										88,619	55,193

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり  
「現況作付面積」 ・関係市の作付実績に基づき決定した。  
「計画作付面積」 ・新設整備では、県、関係市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。  
・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり  
「事業なかりせば単収」 ・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。  
・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。  
「事業ありせば単収」 ・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。  
・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。  
「効果算定対象単収」 ・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。  
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 : 農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

## (2) 営農経費節減効果

### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稲、加工用米、スイートコーン、だいこん

### ○効果算定式

年効果額＝（事業なかりせば単位面積当たり営農経費－事業ありせば単位面積当たり営農経費）×効果発生面積

### ○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤＝ (①-②) + (③-④)	効果 発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
水稲 (区画整理) (小区画 →30a、大区画)	円 3,413,078	円 782,702	円 -	円 -	円 2,630,376	ha 37.2	千円 97,850
水稲 (区画整理) (30a区画 →30a、大区画)	3,345,393	783,053	-	-	2,562,340	4.7	12,043
水稲 (用水改良) (小区画)	-	-	3,329,536	3,413,078	△83,542	42.0	△3,509
水稲 (用水改良) (30a区画)	-	-	3,268,150	3,345,393	△77,243	5.4	△417
加工用米 (区画整理) (小区画 →30a、大区画)	3,413,078	782,403	-	-	2,630,675	16.3	42,880
加工用米 (区画整理) (30a区画 →30a、大区画)	3,345,393	782,536	-	-	2,562,857	2.1	5,382
加工用米 (用水改良) (小区画)	-	-	3,329,536	3,413,078	△83,542	21.9	△1,830
加工用米 (用水改良) (30a区画)	-	-	3,268,150	3,345,393	△77,243	2.8	△216
スイートコーン (区画整理)	1,802,590	1,523,200	-	-	279,390	10.7	2,990
スイートコーン (用水改良) (小区画)	-	-	1,719,048	1,802,590	△83,542	0.2	△17
だいこん (区画整理)	2,052,016	1,768,760	-	-	283,256	2.0	567
新 設							161,712

更 新		△5,989
合 計		155,723

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、秋田県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、秋田県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

### (3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

用水路、排水路、農道、頭首工、揚水機、ため池

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		27,610	19,384	8,226
更新整備		7,681	27,610	△ 19,929
合 計				△ 11,703

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

#### (4) 耕作放棄防止効果

○効果の考え方

事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）に耕作放棄の発生が想定される農地が有している作物生産量及び多面的機能をもって年効果額を算定した。

○対象工種

区画整理

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば発生が想定される耕作放棄地が有している作物生産及び多面的機能の総効果額×還元率

○年効果額の算定

区 分	総効果額 ①	割引率	効果算定 期間	還元率 ②	年効果額 ③＝①×②
	千円		年		千円
新設整備	20,145	0.04	48	0.0472	950

・ 総効果額 : 単位面積当たり効果額を基に、各年の事業なかりせば発生する耕作放棄面積を乗じた年別効果額に割引率を適用して算定した割引後の年別効果額を総計して算定した。

・ 還元率 : 総効果額を効果算定期間における年効果額に換算するための係数。

## (5) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

### ○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稻、加工用米、スイートコーン、だいこん

### ○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額（原単位）  
+ 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

### ○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額（円/千円） ③	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千kcal） ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	39,827	72,941	49	9.9	2,674
更新整備	48,792	756,048	49	9.9	9,876
合計	88,619	828,989			12,550

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額  
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

### 3 評価に使用した資料

#### 【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 耕作放棄防止効果のうち中山間地域における「多面的機能に係る効果」の算定手法の解説について（令和6年4月1日付け農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

#### 【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、秋田県農林水産部農山村振興課調べ

#### 【便益】

- ・ 東北農政局統計部（平成30年～令和5年）「第66～70次東北農林水産統計年報」東北農政局統計部
- ・ 農林水産省大臣官房統計部（平成22、27年、令和2年）「平成22、27年、令和2年農林業センサス秋田県統計書」農林水産統計協会
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、秋田県農林水産部農山村振興課調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名: 秋田県)(地区名: 豊岡南部)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
5. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の( )には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名: 秋田県)(地区名: 豊岡南部)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	2,612	A
			スマート農業技術等の導入	—	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	90.4	A
			①担い手の米の生産コストの労働費 ②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg 割	1,522 3	A
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	9,459.7	A
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	4,000.0	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	100.0	A
			担い手への面的集積率	%	100.0	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	100.0 8.7	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,802	A
農業の高付加価値化		①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い	—	— ○	B	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	○	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	○	A	
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a —	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議(予備)の状況 ②その他着工前に重要な協議(予備)の状況	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する関係市町村の同意状況 ②事業推進協議会から着工要望の提出 ③維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ④事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等(営農支援体制)の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	○ ○	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	94.4	A

## 豊岡南部地区の事業の効用に関する説明資料

### 1 総費用総便益比の算定

#### (1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	1,476,479
当該事業による費用	②	983,024
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	493,455
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	48年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	1,934,991
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.31

#### (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業 による費 用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥=①+ ②+③ +④-⑤
当 該 事 業	区画整理	0	983,024	-	267,904	69,889	1,181,039
	計	0	983,024	-	267,904	69,889	1,181,039
そ の 他	頭首工	10,239	-	-	9,684	116	19,807
	用水路	67,111	-	-	78,180	7,319	137,972
	排水路	0	-	-	166,335	28,674	137,661
	計	77,350	-	-	254,199	36,109	295,440
合 計		77,350	983,024	-	522,103	105,998	1,476,479

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 ( 便 益 ) 額	効果の要因
<b>食料の安定供給の確保に関する効果</b>			
作物生産効果		19,176	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		86,050	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 4,658	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
<b>農業の持続的発展に関する効果</b>			
耕作放棄防止効果		290	区画整理を実施したことにより、耕作放棄の発生が防止され、農産物の生産及び多面的機能が維持される効果
<b>その他の効果</b>			
国産農産物安定供給効果		3,987	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		104,845	

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	15,282	3,894	0.0	0	15,282	14,694	
2	R9	1.0816	2	15,282	3,894	0.0	0	15,282	14,129	
3	R10	1.1249	3	15,282	3,894	28.1	1,094	16,376	14,558	
4	R11	1.1699	4	15,282	3,894	57.1	2,223	17,505	14,963	
5	R12	1.2167	5	15,282	3,894	84.4	3,287	18,569	15,262	
6	R13	1.2653	6	15,282	3,894	93.9	3,656	18,938	14,967	
7	R14	1.3159	7	15,282	3,894	99.3	3,867	19,149	14,552	
8	R15	1.3686	8	15,282	3,894	99.8	3,886	19,168	14,006	
9	R16	1.4233	9	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	13,473	
10	R17	1.4802	10	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	12,955	
11	R18	1.5395	11	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	12,456	
12	R19	1.6010	12	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	11,978	
13	R20	1.6651	13	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	11,516	
14	R21	1.7317	14	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	11,074	
15	R22	1.8009	15	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	10,648	
16	R23	1.8730	16	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	10,238	
17	R24	1.9479	17	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	9,844	
18	R25	2.0258	18	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	9,466	
19	R26	2.1068	19	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	9,102	
20	R27	2.1911	20	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	8,752	
21	R28	2.2788	21	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	8,415	
22	R29	2.3699	22	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	8,091	
23	R30	2.4647	23	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	7,780	
24	R31	2.5633	24	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	7,481	
25	R32	2.6658	25	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	7,193	
26	R33	2.7725	26	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	6,917	
27	R34	2.8834	27	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	6,650	
28	R35	2.9987	28	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	6,395	
29	R36	3.1187	29	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	6,149	
30	R37	3.2434	30	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	5,912	
31	R38	3.3731	31	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	5,685	
32	R39	3.5081	32	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	5,466	
33	R40	3.6484	33	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	5,256	
34	R41	3.7943	34	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	5,054	
35	R42	3.9461	35	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	4,859	
36	R43	4.1039	36	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	4,673	
37	R44	4.2681	37	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	4,493	
38	R45	4.4388	38	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	4,320	
39	R46	4.6164	39	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	4,154	
40	R47	4.8010	40	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	3,994	
41	R48	4.9931	41	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	3,840	
42	R49	5.1928	42	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	3,693	
43	R50	5.4005	43	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	3,551	
44	R51	5.6165	44	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	3,414	
45	R52	5.8412	45	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	3,283	
46	R53	6.0748	46	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	3,157	
47	R54	6.3178	47	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	3,035	
48	R55	6.5705	48	15,282	3,894	100.0	3,894	19,176	2,918	
合計 (総便益額)									394,461	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 2,564	88,614	0.0	0	△ 2,564	△ 2,465	
2	R9	1.0816	2	△ 2,564	88,614	0.0	0	△ 2,564	△ 2,371	
3	R10	1.1249	3	△ 2,564	88,614	28.1	24,901	22,337	19,857	
4	R11	1.1699	4	△ 2,564	88,614	57.1	50,599	48,035	41,059	
5	R12	1.2167	5	△ 2,564	88,614	84.4	74,790	72,226	59,362	
6	R13	1.2653	6	△ 2,564	88,614	93.9	83,209	80,645	63,736	
7	R14	1.3159	7	△ 2,564	88,614	99.3	87,994	85,430	64,921	
8	R15	1.3686	8	△ 2,564	88,614	99.8	88,437	85,873	62,745	
9	R16	1.4233	9	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	60,458	
10	R17	1.4802	10	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	58,134	
11	R18	1.5395	11	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	55,895	
12	R19	1.6010	12	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	53,748	
13	R20	1.6651	13	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	51,679	
14	R21	1.7317	14	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	49,691	
15	R22	1.8009	15	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	47,782	
16	R23	1.8730	16	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	45,942	
17	R24	1.9479	17	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	44,176	
18	R25	2.0258	18	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	42,477	
19	R26	2.1068	19	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	40,844	
20	R27	2.1911	20	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	39,273	
21	R28	2.2788	21	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	37,761	
22	R29	2.3699	22	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	36,310	
23	R30	2.4647	23	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	34,913	
24	R31	2.5633	24	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	33,570	
25	R32	2.6658	25	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	32,279	
26	R33	2.7725	26	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	31,037	
27	R34	2.8834	27	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	29,843	
28	R35	2.9987	28	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	28,696	
29	R36	3.1187	29	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	27,592	
30	R37	3.2434	30	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	26,531	
31	R38	3.3731	31	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	25,511	
32	R39	3.5081	32	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	24,529	
33	R40	3.6484	33	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	23,586	
34	R41	3.7943	34	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	22,679	
35	R42	3.9461	35	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	21,806	
36	R43	4.1039	36	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	20,968	
37	R44	4.2681	37	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	20,161	
38	R45	4.4388	38	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	19,386	
39	R46	4.6164	39	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	18,640	
40	R47	4.8010	40	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	17,923	
41	R48	4.9931	41	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	17,234	
42	R49	5.1928	42	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	16,571	
43	R50	5.4005	43	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	15,934	
44	R51	5.6165	44	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	15,321	
45	R52	5.8412	45	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	14,732	
46	R53	6.0748	46	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	14,165	
47	R54	6.3178	47	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	13,620	
48	R55	6.5705	48	△ 2,564	88,614	100.0	88,614	86,050	13,096	
合計 (総便益額)									1,551,337	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 4,786	128	0.0	0	△ 4,786	△ 4,602	
2	R9	1.0816	2	△ 4,786	128	0.0	0	△ 4,786	△ 4,425	
3	R10	1.1249	3	△ 4,786	128	28.1	36	△ 4,750	△ 4,223	
4	R11	1.1699	4	△ 4,786	128	57.1	73	△ 4,713	△ 4,029	
5	R12	1.2167	5	△ 4,786	128	84.4	108	△ 4,678	△ 3,845	
6	R13	1.2653	6	△ 4,786	128	93.9	120	△ 4,666	△ 3,688	
7	R14	1.3159	7	△ 4,786	128	99.3	127	△ 4,659	△ 3,541	
8	R15	1.3686	8	△ 4,786	128	99.8	128	△ 4,658	△ 3,403	
9	R16	1.4233	9	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 3,273	
10	R17	1.4802	10	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 3,147	
11	R18	1.5395	11	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 3,026	
12	R19	1.6010	12	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 2,909	
13	R20	1.6651	13	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 2,797	
14	R21	1.7317	14	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 2,690	
15	R22	1.8009	15	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 2,586	
16	R23	1.8730	16	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 2,487	
17	R24	1.9479	17	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 2,391	
18	R25	2.0258	18	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 2,299	
19	R26	2.1068	19	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 2,211	
20	R27	2.1911	20	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 2,126	
21	R28	2.2788	21	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 2,044	
22	R29	2.3699	22	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,965	
23	R30	2.4647	23	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,890	
24	R31	2.5633	24	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,817	
25	R32	2.6658	25	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,747	
26	R33	2.7725	26	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,680	
27	R34	2.8834	27	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,615	
28	R35	2.9987	28	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,553	
29	R36	3.1187	29	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,494	
30	R37	3.2434	30	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,436	
31	R38	3.3731	31	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,381	
32	R39	3.5081	32	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,328	
33	R40	3.6484	33	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,277	
34	R41	3.7943	34	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,228	
35	R42	3.9461	35	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,180	
36	R43	4.1039	36	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,135	
37	R44	4.2681	37	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,091	
38	R45	4.4388	38	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,049	
39	R46	4.6164	39	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 1,009	
40	R47	4.8010	40	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 970	
41	R48	4.9931	41	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 933	
42	R49	5.1928	42	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 897	
43	R50	5.4005	43	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 863	
44	R51	5.6165	44	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 829	
45	R52	5.8412	45	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 797	
46	R53	6.0748	46	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 767	
47	R54	6.3178	47	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 737	
48	R55	6.5705	48	△ 4,786	128	100.0	128	△ 4,658	△ 709	
合計 (総便益額)									△ 99,119	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	耕作放棄防止効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果		計		左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		
1	R8	1.0400	1	-	290	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	290	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	290	28.1	81	81	72	
4	R11	1.1699	4	-	290	57.1	166	166	142	
5	R12	1.2167	5	-	290	84.4	245	245	201	
6	R13	1.2653	6	-	290	93.9	272	272	215	
7	R14	1.3159	7	-	290	99.3	288	288	219	
8	R15	1.3686	8	-	290	99.8	289	289	211	
9	R16	1.4233	9	-	290	100.0	290	290	204	
10	R17	1.4802	10	-	290	100.0	290	290	196	
11	R18	1.5395	11	-	290	100.0	290	290	188	
12	R19	1.6010	12	-	290	100.0	290	290	181	
13	R20	1.6651	13	-	290	100.0	290	290	174	
14	R21	1.7317	14	-	290	100.0	290	290	167	
15	R22	1.8009	15	-	290	100.0	290	290	161	
16	R23	1.8730	16	-	290	100.0	290	290	155	
17	R24	1.9479	17	-	290	100.0	290	290	149	
18	R25	2.0258	18	-	290	100.0	290	290	143	
19	R26	2.1068	19	-	290	100.0	290	290	138	
20	R27	2.1911	20	-	290	100.0	290	290	132	
21	R28	2.2788	21	-	290	100.0	290	290	127	
22	R29	2.3699	22	-	290	100.0	290	290	122	
23	R30	2.4647	23	-	290	100.0	290	290	118	
24	R31	2.5633	24	-	290	100.0	290	290	113	
25	R32	2.6658	25	-	290	100.0	290	290	109	
26	R33	2.7725	26	-	290	100.0	290	290	105	
27	R34	2.8834	27	-	290	100.0	290	290	101	
28	R35	2.9987	28	-	290	100.0	290	290	97	
29	R36	3.1187	29	-	290	100.0	290	290	93	
30	R37	3.2434	30	-	290	100.0	290	290	89	
31	R38	3.3731	31	-	290	100.0	290	290	86	
32	R39	3.5081	32	-	290	100.0	290	290	83	
33	R40	3.6484	33	-	290	100.0	290	290	79	
34	R41	3.7943	34	-	290	100.0	290	290	76	
35	R42	3.9461	35	-	290	100.0	290	290	73	
36	R43	4.1039	36	-	290	100.0	290	290	71	
37	R44	4.2681	37	-	290	100.0	290	290	68	
38	R45	4.4388	38	-	290	100.0	290	290	65	
39	R46	4.6164	39	-	290	100.0	290	290	63	
40	R47	4.8010	40	-	290	100.0	290	290	60	
41	R48	4.9931	41	-	290	100.0	290	290	58	
42	R49	5.1928	42	-	290	100.0	290	290	56	
43	R50	5.4005	43	-	290	100.0	290	290	54	
44	R51	5.6165	44	-	290	100.0	290	290	52	
45	R52	5.8412	45	-	290	100.0	290	290	50	
46	R53	6.0748	46	-	290	100.0	290	290	48	
47	R54	6.3178	47	-	290	100.0	290	290	46	
48	R55	6.5705	48	-	290	100.0	290	290	44	
合計 (総便益額)									5,254	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	3,516	471	0.0	0	3,516	3,381	
2	R9	1.0816	2	3,516	471	0.0	0	3,516	3,251	
3	R10	1.1249	3	3,516	471	28.1	132	3,648	3,243	
4	R11	1.1699	4	3,516	471	57.1	269	3,785	3,235	
5	R12	1.2167	5	3,516	471	84.4	398	3,914	3,217	
6	R13	1.2653	6	3,516	471	93.9	442	3,958	3,128	
7	R14	1.3159	7	3,516	471	99.3	468	3,984	3,028	
8	R15	1.3686	8	3,516	471	99.8	470	3,986	2,912	
9	R16	1.4233	9	3,516	471	100.0	471	3,987	2,801	
10	R17	1.4802	10	3,516	471	100.0	471	3,987	2,694	
11	R18	1.5395	11	3,516	471	100.0	471	3,987	2,590	
12	R19	1.6010	12	3,516	471	100.0	471	3,987	2,490	
13	R20	1.6651	13	3,516	471	100.0	471	3,987	2,394	
14	R21	1.7317	14	3,516	471	100.0	471	3,987	2,302	
15	R22	1.8009	15	3,516	471	100.0	471	3,987	2,214	
16	R23	1.8730	16	3,516	471	100.0	471	3,987	2,129	
17	R24	1.9479	17	3,516	471	100.0	471	3,987	2,047	
18	R25	2.0258	18	3,516	471	100.0	471	3,987	1,968	
19	R26	2.1068	19	3,516	471	100.0	471	3,987	1,892	
20	R27	2.1911	20	3,516	471	100.0	471	3,987	1,820	
21	R28	2.2788	21	3,516	471	100.0	471	3,987	1,750	
22	R29	2.3699	22	3,516	471	100.0	471	3,987	1,682	
23	R30	2.4647	23	3,516	471	100.0	471	3,987	1,618	
24	R31	2.5633	24	3,516	471	100.0	471	3,987	1,555	
25	R32	2.6658	25	3,516	471	100.0	471	3,987	1,496	
26	R33	2.7725	26	3,516	471	100.0	471	3,987	1,438	
27	R34	2.8834	27	3,516	471	100.0	471	3,987	1,383	
28	R35	2.9987	28	3,516	471	100.0	471	3,987	1,330	
29	R36	3.1187	29	3,516	471	100.0	471	3,987	1,278	
30	R37	3.2434	30	3,516	471	100.0	471	3,987	1,229	
31	R38	3.3731	31	3,516	471	100.0	471	3,987	1,182	
32	R39	3.5081	32	3,516	471	100.0	471	3,987	1,137	
33	R40	3.6484	33	3,516	471	100.0	471	3,987	1,093	
34	R41	3.7943	34	3,516	471	100.0	471	3,987	1,051	
35	R42	3.9461	35	3,516	471	100.0	471	3,987	1,010	
36	R43	4.1039	36	3,516	471	100.0	471	3,987	972	
37	R44	4.2681	37	3,516	471	100.0	471	3,987	934	
38	R45	4.4388	38	3,516	471	100.0	471	3,987	898	
39	R46	4.6164	39	3,516	471	100.0	471	3,987	864	
40	R47	4.8010	40	3,516	471	100.0	471	3,987	830	
41	R48	4.9931	41	3,516	471	100.0	471	3,987	799	
42	R49	5.1928	42	3,516	471	100.0	471	3,987	768	
43	R50	5.4005	43	3,516	471	100.0	471	3,987	738	
44	R51	5.6165	44	3,516	471	100.0	471	3,987	710	
45	R52	5.8412	45	3,516	471	100.0	471	3,987	683	
46	R53	6.0748	46	3,516	471	100.0	471	3,987	656	
47	R54	6.3178	47	3,516	471	100.0	471	3,987	631	
48	R55	6.5705	48	3,516	471	100.0	471	3,987	607	
合計 (総便益額)									83,058	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

## 2 年効果額の算定方法

### (1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、加工用米、WCS用稲、大豆、そば、牧草、にんにく、えだまめ、さといも

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額<sup>※1</sup>＋作付増減年効果額<sup>※2</sup>

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）×単価×単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）×単収×単価×作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×②÷100	生産物単価 ④	増 加 粗 収 益 額 ⑤＝③×④	純益率 ⑥	年 効 果 額 ⑦＝⑤×⑥	
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②						
水稻	新設	ha	ha	ha	単収増 (乾田化)	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円	
				22.4	22.4	22.4	594	630	36	8.1	-	-	-	-
				22.4	22.4	22.4	594	606	12	2.7	-	-	-	-
	更新	ha	ha	ha	単収増 (水管理改良)	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円	
				22.4	22.4	22.4	594	606	12	2.7	-	-	-	
				22.4	22.4	22.4	249	594	345	77.3	-	-	-	
小計	-	-	-	-	-	-	10.8	217	2,344	89	2,086			
小計	-	-	-	-	-	-	77.3	217	16,774	89	14,929			
水稻計	-	-	-	-	-	-	-	88.1	-	19,118	-	17,015		
加工用米	新設	0.6	10.8	0.6	単収増 (乾田化)	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円	
				0.6	0.6	0.6	594	630	36	0.2	-	-	-	
				0.6	0.6	0.6	594	606	12	0.1	-	-	-	
	更新	0.6	0.6	0.6	単収増 (水管理改良)	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円	
				0.6	0.6	0.6	594	606	12	0.1	-	-	-	
				0.6	0.6	0.6	249	594	345	2.1	-	-	-	
小計	-	-	-	-	-	-	0.3	156	47	86	40			
小計	-	-	-	-	-	-	61	156	9,454	-	-			
加工用米計	-	-	-	-	-	-	-	63.0	-	9,829	-	322		
WCS用稲	新設	4.9	-	△ 4.9	作付減	ha	ha	ha	t	千円/t	千円	%	千円	
				△ 4.9	△ 4.9	△ 4.9	-	-	2,964	△ 145.2	-	-	-	
	更新	4.9	4.9	4.9	単収増 (水管理改良)	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円	
				4.9	4.9	4.9	1,245	2,964	1,719	84.2	-	-	-	
小計	-	-	-	-	-	-	84.2	36	3,031	-	-			
WCS用稲計	-	-	-	-	-	-	-	△ 61.0	-	△ 2,196	-	-		
大豆	新設	3.6	-	△ 3.6	作付減	ha	ha	ha	t	千円/t	千円	%	千円	
				△ 3.6	△ 3.6	△ 3.6	-	-	185	△ 6.7	-	-	-	
	更新	3.6	3.6	3.6	単収増 (澁漬かんがい)	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円	
				3.6	3.6	3.6	171	185	14	0.5	-	-	-	
小計	-	-	-	-	-	-	0.5	162	81	88	71			
大豆計	-	-	-	-	-	-	-	△ 6.2	-	△ 1,004	-	71		

そば	新設	1.1	-	△ 1.1	作付減	-	-	53	△ 0.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	△ 0.6	263	△ 158	-	-
					そば計	-	-	-	△ 0.6	-	△ 158	-	71
牧草	新設	3.9	-	△ 3.9	作付減	-	-	2,964	△ 115.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	△ 115.6	36	△ 4,162	10	△ 416
					牧草計	-	-	-	△ 115.6	-	△ 4,162	-	△ 416
にんにく	新設	-	1.2	1.2	作付増	-	-	547	6.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	6.6	1,221	8,059	16	1,289
					にんにく計	-	-	-	6.6	-	8,059	-	1,289
えだまめ	新設	0.1	1.2	0.1	単収増 (乾田化)	280	501	221	0.2	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.2	516	103	91	94
				1.1	作付増	-	-	501	5.5	-	-	-	-
					小計	-	-	-	5.5	516	2,838	17	482
	更新	0.1	0.1	0.1	単収増 (澁漣かんがい)	243	280	37	0.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.0	516	0	91	0
えだまめ計	-	-	-	-	5.7	-	2,941	-	576				
さといも	新設	-	1.6	1.6	作付増	-	-	779	12.5	-	-	-	-
					小計	-	-	-	12.5	200	2,500	12	300
					さといも計	-	-	-	12.5	-	2,500	-	300
水田計	新設	36.6	37.2	/	/	/	/	/	/	14,713	3,875		
	更新	31.6	31.6	/	/	/	/	/	/	20,214	15,282		
さといも	新設	-	0.1	0.1	作付増	-	-	779	0.8	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.8	200	160	12	19
					さといも計	-	-	-	0.8	-	160	-	19
普通畑計	新設	-	0.1	/	/	/	/	/	/	160	19		
	更新	-	-	/	/	/	/	/	/	-	-		
新設		/		/		/		/		14,873	3,894		
更新		/		/		/		/		20,214	15,282		
合計		/		/		/		/		35,087	19,176		

- ・作付面積 : 各作物の作付面積は以下のとおり  
「現況作付面積」 ・関係市の作付実績に基づき決定した。  
「計画作付面積」 ・新設整備では、県、関係市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。  
・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり  
「事業なかりせば単収」 ・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。  
・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。  
「事業ありせば単収」 ・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。  
・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。  
「効果算定対象単収」 ・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。  
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 : 農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

## (2) 営農経費節減効果

### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稻、加工用米、WCS用稲、大豆、にんにく、えだまめ、さといも

### ○効果算定式

年効果額＝（事業なかりせば単位面積当たり営農経費－事業ありせば単位面積当たり営農経費）×効果発生面積

### ○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤＝ (①-②) + (③-④)	効果 発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
水稻 (区画整理) (小区画 →30a、大区画)	円 3,425,999	円 790,828	円 -	円 -	円 2,635,171	ha 20.5	千円 54,021
水稻 (区画整理) (30a区画 →30a、大区画)	3,358,511	781,669	-	-	2,576,842	1.9	4,896
水稻 (用水改良) (小区画)	-	-	3,340,639	3,425,999	△85,360	20.5	△1,750
水稻 (用水改良) (30a区画)	-	-	3,279,354	3,358,511	△79,157	1.9	△150
加工用米 (区画整理) (小区画 →30a、大区画)	3,425,999	789,337	-	-	2,636,662	9.9	26,103
加工用米 (区画整理) (30a区画 →30a、大区画)	3,358,511	781,844	-	-	2,576,667	0.9	2,319
加工用米 (用水改良) (小区画)	-	-	3,340,639	3,425,999	△85,360	0.5	△43
加工用米 (用水改良) (30a区画)	-	-	3,279,354	3,358,511	△79,157	0.1	△8
WCS用稲 (用水改良) (小区画)	-	-	3,340,639	3,425,999	△85,360	4.5	△384
WCS用稲 (用水改良) (30a区画)	-	-	3,279,354	3,358,511	△79,157	0.4	△32
大豆 (用水改良) (小区画)	-	-	784,272	837,448	△53,176	3.6	△191

にんにく (区画整理)	5,742,349	5,394,660	-	-	347,689	1.2	417	
えだまめ (区画整理)	1,790,524	1,485,950	-	-	304,574	1.2	365	
えだまめ (用水改良) (小区画)	-	-	1,737,348	1,790,524	△53,176	0.1	△6	
さといも (区画整理)	3,289,582	2,999,457	-	-	290,125	1.7	493	
新 設								88,614
更 新								△2,564
合 計								86,050

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、秋田県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、秋田県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

### (3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

用水路、排水路、農道、頭首工

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		7,669	7,541	128
更新整備		2,883	7,669	△ 4,786
合 計				△ 4,658

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

#### (4) 耕作放棄防止効果

○効果の考え方

事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）に耕作放棄の発生が想定される農地が有している作物生産量及び多面的機能をもって年効果額を算定した。

○対象工種

区画整理

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば発生が想定される耕作放棄地が有している作物生産及び多面的機能の総効果額×還元率

○年効果額の算定

区 分	総効果額 ①	割引率	効果算定 期間	還元率 ②	年効果額 ③＝①×②
	千円		年		千円
新設整備	6,136	0.04	48	0.0472	290

・ 総効果額 : 単位面積当たり効果額を基に、各年の事業なかりせば発生する耕作放棄面積を乗じた年別効果額に割引率を適用して算定した割引後の年別効果額を総計して算定した。

・ 還元率 : 総効果額を効果算定期間における年効果額に換算するための係数。

## (5) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

### ○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稻、加工用米、WCS用稲、大豆、そば、牧草、にんにく、えだまめ、さといも

### ○効果算定式

$$\text{年効果額} = \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額（原単位）} \\ + \text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額（原単位）}$$

### ○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 （千kcal） ②	単位食料生産 額当たり効果 額（円/千円） ③	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千kcal） ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤=①×③ +②×④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	14,873	△ 26,061	49	9.9	471
更新整備	20,214	255,134	49	9.9	3,516
合計	35,087	229,073			3,987

- ・増加粗収益額  
：作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額  
当たり効果額  
：一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

### 3 評価に使用した資料

#### 【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 耕作放棄防止効果のうち中山間地域における「多面的機能に係る効果」の算定手法の解説について（令和6年4月1日付け農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

#### 【費用】

- ・ 当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、秋田県農林水産部農山村振興課調べ

#### 【便益】

- ・ 東北農政局統計部（平成30年～令和5年）「第66～70次東北農林水産統計年報」東北農政局統計部
- ・ 農林水産省大臣官房統計部（平成22、27年、令和2年）「平成22、27年、令和2年農林業センサス秋田県統計書」農林水産統計協会
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、秋田県農林水産部農山村振興課調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名:秋田県)(地区名:高崎館越)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	○
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	○
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	○
4. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	○
5. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	○

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の( )には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名:秋田県)(地区名:高崎館越)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保	—	○	A
			②コスト縮減についての具体的配慮	—	○	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	2,671	A
			スマート農業技術等の導入	—	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	79.4	A
			①担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg	1,603	A
			②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	割	3	
			産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	9,040.6
	②高収益作物の作付面積の増加率	%		3,433.3		
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	100.0	A
			担い手への面的集積率	%	100.0	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	100.0	A
	②作付率の増加ポイント	%	16.5			
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	2,278	A
農業の高付加価値化		①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組	—	○	A	
		②地域活性化に係る話合い	—	○		
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	○	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	○	A	
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮	—	a	A
	②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組		—	a		
③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	—				

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	B	B
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議(予備)の状況 ②その他着工前に重要な協議(予備)の状況	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する関係市町村の同意状況 ②事業推進協議会から着工要望の提出 ③維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ④事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等(営農支援体制)の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	○ ○	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	94.4	A

## 高崎館越地区の事業の効用に関する説明資料

### 1 総費用総便益比の算定

#### (1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	2,390,906
当該事業による費用	②	1,688,794
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	702,112
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	48年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	3,260,096
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.36

#### (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業 による費 用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝ ①＋②＋③ ＋④－⑤
当該 事業	区画整理	0	1,688,794	-	496,359	124,565	2,060,588
	計	0	1,688,794	-	496,359	124,565	2,060,588
そ の 他	ため池取水施設	0	-	-	97,354	16,783	80,571
	用水路	30,079	-	53,960	119,234	20,235	183,038
	排水路	0	-	-	33,561	3,562	29,999
	頭首工	6,863	-	-	31,340	1,493	36,710
	計	36,942	-	53,960	281,489	42,073	330,318
合 計		36,942	1,688,794	53,960	777,848	166,638	2,390,906

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 ( 便 益 ) 額	効果の要因
<b>食料の安定供給の確保に関する効果</b>			
作物生産効果		41,013	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		131,358	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 5,699	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
<b>農業の持続的発展に関する効果</b>			
耕作放棄防止効果		284	区画整理を実施したことにより、耕作放棄の発生が防止され、農産物の生産及び多面的機能が維持される効果
<b>その他の効果</b>			
国産農産物安定供給効果		9,118	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		176,074	

(4) 総便益額算出表－1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	30,710	10,303	0.0	0	30,710	29,529	
2	R9	1.0816	2	30,710	10,303	0.0	0	30,710	28,393	
3	R10	1.1249	3	30,710	10,303	28.6	2,947	33,657	29,920	
4	R11	1.1699	4	30,710	10,303	57.9	5,965	36,675	31,349	
5	R12	1.2167	5	30,710	10,303	85.2	8,778	39,488	32,455	
6	R13	1.2653	6	30,710	10,303	94.2	9,705	40,415	31,941	
7	R14	1.3159	7	30,710	10,303	99.3	10,231	40,941	31,113	
8	R15	1.3686	8	30,710	10,303	99.8	10,282	40,992	29,952	
9	R16	1.4233	9	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	28,815	
10	R17	1.4802	10	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	27,708	
11	R18	1.5395	11	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	26,640	
12	R19	1.6010	12	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	25,617	
13	R20	1.6651	13	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	24,631	
14	R21	1.7317	14	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	23,684	
15	R22	1.8009	15	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	22,774	
16	R23	1.8730	16	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	21,897	
17	R24	1.9479	17	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	21,055	
18	R25	2.0258	18	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	20,245	
19	R26	2.1068	19	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	19,467	
20	R27	2.1911	20	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	18,718	
21	R28	2.2788	21	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	17,998	
22	R29	2.3699	22	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	17,306	
23	R30	2.4647	23	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	16,640	
24	R31	2.5633	24	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	16,000	
25	R32	2.6658	25	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	15,385	
26	R33	2.7725	26	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	14,793	
27	R34	2.8834	27	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	14,224	
28	R35	2.9987	28	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	13,677	
29	R36	3.1187	29	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	13,151	
30	R37	3.2434	30	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	12,645	
31	R38	3.3731	31	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	12,159	
32	R39	3.5081	32	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	11,691	
33	R40	3.6484	33	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	11,241	
34	R41	3.7943	34	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	10,809	
35	R42	3.9461	35	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	10,393	
36	R43	4.1039	36	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	9,994	
37	R44	4.2681	37	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	9,609	
38	R45	4.4388	38	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	9,240	
39	R46	4.6164	39	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	8,884	
40	R47	4.8010	40	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	8,543	
41	R48	4.9931	41	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	8,214	
42	R49	5.1928	42	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	7,898	
43	R50	5.4005	43	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	7,594	
44	R51	5.6165	44	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	7,302	
45	R52	5.8412	45	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	7,021	
46	R53	6.0748	46	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	6,751	
47	R54	6.3178	47	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	6,492	
48	R55	6.5705	48	30,710	10,303	100.0	10,303	41,013	6,242	
合計 (総便益額)									837,799	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果		計		左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		
1	R8	1.0400	1	△ 4,591	135,949	0.0	0	△ 4,591	△ 4,414	
2	R9	1.0816	2	△ 4,591	135,949	0.0	0	△ 4,591	△ 4,245	
3	R10	1.1249	3	△ 4,591	135,949	28.6	38,881	34,290	30,483	
4	R11	1.1699	4	△ 4,591	135,949	57.9	78,714	74,123	63,358	
5	R12	1.2167	5	△ 4,591	135,949	85.2	115,829	111,238	91,426	
6	R13	1.2653	6	△ 4,591	135,949	94.2	128,064	123,473	97,584	
7	R14	1.3159	7	△ 4,591	135,949	99.3	134,997	130,406	99,100	
8	R15	1.3686	8	△ 4,591	135,949	99.8	135,677	131,086	95,781	
9	R16	1.4233	9	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	92,291	
10	R17	1.4802	10	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	88,743	
11	R18	1.5395	11	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	85,325	
12	R19	1.6010	12	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	82,047	
13	R20	1.6651	13	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	78,889	
14	R21	1.7317	14	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	75,855	
15	R22	1.8009	15	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	72,940	
16	R23	1.8730	16	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	70,132	
17	R24	1.9479	17	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	67,436	
18	R25	2.0258	18	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	64,843	
19	R26	2.1068	19	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	62,350	
20	R27	2.1911	20	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	59,951	
21	R28	2.2788	21	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	57,643	
22	R29	2.3699	22	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	55,428	
23	R30	2.4647	23	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	53,296	
24	R31	2.5633	24	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	51,246	
25	R32	2.6658	25	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	49,275	
26	R33	2.7725	26	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	47,379	
27	R34	2.8834	27	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	45,557	
28	R35	2.9987	28	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	43,805	
29	R36	3.1187	29	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	42,119	
30	R37	3.2434	30	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	40,500	
31	R38	3.3731	31	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	38,943	
32	R39	3.5081	32	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	37,444	
33	R40	3.6484	33	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	36,004	
34	R41	3.7943	34	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	34,620	
35	R42	3.9461	35	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	33,288	
36	R43	4.1039	36	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	32,008	
37	R44	4.2681	37	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	30,777	
38	R45	4.4388	38	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	29,593	
39	R46	4.6164	39	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	28,455	
40	R47	4.8010	40	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	27,361	
41	R48	4.9931	41	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	26,308	
42	R49	5.1928	42	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	25,296	
43	R50	5.4005	43	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	24,323	
44	R51	5.6165	44	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	23,388	
45	R52	5.8412	45	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	22,488	
46	R53	6.0748	46	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	21,623	
47	R54	6.3178	47	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	20,792	
48	R55	6.5705	48	△ 4,591	135,949	100.0	135,949	131,358	19,992	
合計 (総便益額)									2,368,826	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 11,583	5,884	0.0	0	△ 11,583	△ 11,138	
2	R9	1.0816	2	△ 11,583	5,884	0.0	0	△ 11,583	△ 10,709	
3	R10	1.1249	3	△ 11,583	5,884	28.6	1,683	△ 9,900	△ 8,801	
4	R11	1.1699	4	△ 11,583	5,884	57.9	3,407	△ 8,176	△ 6,989	
5	R12	1.2167	5	△ 11,583	5,884	85.2	5,013	△ 6,570	△ 5,400	
6	R13	1.2653	6	△ 11,583	5,884	94.2	5,543	△ 6,040	△ 4,774	
7	R14	1.3159	7	△ 11,583	5,884	99.3	5,843	△ 5,740	△ 4,362	
8	R15	1.3686	8	△ 11,583	5,884	99.8	5,872	△ 5,711	△ 4,173	
9	R16	1.4233	9	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 4,004	
10	R17	1.4802	10	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 3,850	
11	R18	1.5395	11	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 3,702	
12	R19	1.6010	12	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 3,560	
13	R20	1.6651	13	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 3,423	
14	R21	1.7317	14	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 3,291	
15	R22	1.8009	15	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 3,165	
16	R23	1.8730	16	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 3,043	
17	R24	1.9479	17	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 2,926	
18	R25	2.0258	18	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 2,813	
19	R26	2.1068	19	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 2,705	
20	R27	2.1911	20	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 2,601	
21	R28	2.2788	21	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 2,501	
22	R29	2.3699	22	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 2,405	
23	R30	2.4647	23	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 2,312	
24	R31	2.5633	24	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 2,223	
25	R32	2.6658	25	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 2,138	
26	R33	2.7725	26	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 2,056	
27	R34	2.8834	27	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,976	
28	R35	2.9987	28	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,900	
29	R36	3.1187	29	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,827	
30	R37	3.2434	30	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,757	
31	R38	3.3731	31	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,690	
32	R39	3.5081	32	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,625	
33	R40	3.6484	33	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,562	
34	R41	3.7943	34	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,502	
35	R42	3.9461	35	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,444	
36	R43	4.1039	36	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,389	
37	R44	4.2681	37	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,335	
38	R45	4.4388	38	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,284	
39	R46	4.6164	39	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,235	
40	R47	4.8010	40	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,187	
41	R48	4.9931	41	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,141	
42	R49	5.1928	42	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,097	
43	R50	5.4005	43	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,055	
44	R51	5.6165	44	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 1,015	
45	R52	5.8412	45	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 976	
46	R53	6.0748	46	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 938	
47	R54	6.3178	47	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 902	
48	R55	6.5705	48	△ 11,583	5,884	100.0	5,884	△ 5,699	△ 867	
合計 (総便益額)									△ 138,768	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	耕作放棄防止効果						備考
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	—	284	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	—	284	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	—	284	28.6	81	81	72	
4	R11	1.1699	4	—	284	57.9	164	164	140	
5	R12	1.2167	5	—	284	85.2	242	242	199	
6	R13	1.2653	6	—	284	94.2	267	267	212	
7	R14	1.3159	7	—	284	99.3	282	282	214	
8	R15	1.3686	8	—	284	99.8	283	283	207	
9	R16	1.4233	9	—	284	100.0	284	284	200	
10	R17	1.4802	10	—	284	100.0	284	284	192	
11	R18	1.5395	11	—	284	100.0	284	284	184	
12	R19	1.6010	12	—	284	100.0	284	284	177	
13	R20	1.6651	13	—	284	100.0	284	284	171	
14	R21	1.7317	14	—	284	100.0	284	284	164	
15	R22	1.8009	15	—	284	100.0	284	284	158	
16	R23	1.8730	16	—	284	100.0	284	284	152	
17	R24	1.9479	17	—	284	100.0	284	284	146	
18	R25	2.0258	18	—	284	100.0	284	284	140	
19	R26	2.1068	19	—	284	100.0	284	284	135	
20	R27	2.1911	20	—	284	100.0	284	284	130	
21	R28	2.2788	21	—	284	100.0	284	284	125	
22	R29	2.3699	22	—	284	100.0	284	284	120	
23	R30	2.4647	23	—	284	100.0	284	284	115	
24	R31	2.5633	24	—	284	100.0	284	284	111	
25	R32	2.6658	25	—	284	100.0	284	284	107	
26	R33	2.7725	26	—	284	100.0	284	284	102	
27	R34	2.8834	27	—	284	100.0	284	284	98	
28	R35	2.9987	28	—	284	100.0	284	284	95	
29	R36	3.1187	29	—	284	100.0	284	284	91	
30	R37	3.2434	30	—	284	100.0	284	284	88	
31	R38	3.3731	31	—	284	100.0	284	284	84	
32	R39	3.5081	32	—	284	100.0	284	284	81	
33	R40	3.6484	33	—	284	100.0	284	284	78	
34	R41	3.7943	34	—	284	100.0	284	284	75	
35	R42	3.9461	35	—	284	100.0	284	284	72	
36	R43	4.1039	36	—	284	100.0	284	284	69	
37	R44	4.2681	37	—	284	100.0	284	284	67	
38	R45	4.4388	38	—	284	100.0	284	284	64	
39	R46	4.6164	39	—	284	100.0	284	284	62	
40	R47	4.8010	40	—	284	100.0	284	284	59	
41	R48	4.9931	41	—	284	100.0	284	284	57	
42	R49	5.1928	42	—	284	100.0	284	284	55	
43	R50	5.4005	43	—	284	100.0	284	284	53	
44	R51	5.6165	44	—	284	100.0	284	284	51	
45	R52	5.8412	45	—	284	100.0	284	284	49	
46	R53	6.0748	46	—	284	100.0	284	284	47	
47	R54	6.3178	47	—	284	100.0	284	284	45	
48	R55	6.5705	48	—	284	100.0	284	284	43	
合計 (総便益額)									5,156	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	7,098	2,020	0.0	0	7,098	6,825	
2	R9	1.0816	2	7,098	2,020	0.0	0	7,098	6,563	
3	R10	1.1249	3	7,098	2,020	28.6	578	7,676	6,824	
4	R11	1.1699	4	7,098	2,020	57.9	1,170	8,268	7,067	
5	R12	1.2167	5	7,098	2,020	85.2	1,721	8,819	7,248	
6	R13	1.2653	6	7,098	2,020	94.2	1,903	9,001	7,114	
7	R14	1.3159	7	7,098	2,020	99.3	2,006	9,104	6,918	
8	R15	1.3686	8	7,098	2,020	99.8	2,016	9,114	6,659	
9	R16	1.4233	9	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	6,406	
10	R17	1.4802	10	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	6,160	
11	R18	1.5395	11	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	5,923	
12	R19	1.6010	12	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	5,695	
13	R20	1.6651	13	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	5,476	
14	R21	1.7317	14	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	5,265	
15	R22	1.8009	15	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	5,063	
16	R23	1.8730	16	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	4,868	
17	R24	1.9479	17	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	4,681	
18	R25	2.0258	18	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	4,501	
19	R26	2.1068	19	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	4,328	
20	R27	2.1911	20	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	4,161	
21	R28	2.2788	21	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	4,001	
22	R29	2.3699	22	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	3,847	
23	R30	2.4647	23	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	3,699	
24	R31	2.5633	24	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	3,557	
25	R32	2.6658	25	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	3,420	
26	R33	2.7725	26	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	3,289	
27	R34	2.8834	27	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	3,162	
28	R35	2.9987	28	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	3,041	
29	R36	3.1187	29	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	2,924	
30	R37	3.2434	30	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	2,811	
31	R38	3.3731	31	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	2,703	
32	R39	3.5081	32	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	2,599	
33	R40	3.6484	33	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	2,499	
34	R41	3.7943	34	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	2,403	
35	R42	3.9461	35	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	2,311	
36	R43	4.1039	36	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	2,222	
37	R44	4.2681	37	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	2,136	
38	R45	4.4388	38	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	2,054	
39	R46	4.6164	39	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	1,975	
40	R47	4.8010	40	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	1,899	
41	R48	4.9931	41	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	1,826	
42	R49	5.1928	42	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	1,756	
43	R50	5.4005	43	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	1,688	
44	R51	5.6165	44	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	1,623	
45	R52	5.8412	45	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	1,561	
46	R53	6.0748	46	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	1,501	
47	R54	6.3178	47	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	1,443	
48	R55	6.5705	48	7,098	2,020	100.0	2,020	9,118	1,388	
合計 (総便益額)									187,083	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

## 2 年効果額の算定方法

### (1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、加工用米、そば、大豆、えだまめ、ねぎ、たまねぎ、ほうれんそう、キャベツ、だいこん

○年効果額算定式

年効果額 = 単収増加年効果額<sup>※1</sup> + 作付増減年効果額<sup>※2</sup>

※1 単収増加年効果額 = 作付面積 × (事業ありせば単収 - 事業なかりせば単収) × 単価 × 単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額 = (事業ありせば作付面積 - 事業なかりせば作付面積) × 単収 × 単価 × 作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③ = ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤ = ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収 kg/10a	事業ありせば単収 kg/10a	効果対象単収 kg/10a ②					
水稻	新設	34.3	34.3	34.3	単収増(乾田化)	566	600	34	11.7	-	-	-	-
				34.3	単収増(水管理改良)	566	577	11	3.8	-	-	-	-
					小計	-	-	-	15.5	217	3,364	89	2,994
	更新	34.3	34.3	34.3	単収増(水管理改良)	238	566	328	112.5	-	-	-	-
					小計	-	-	-	112.5	217	24,413	89	21,728
					水稻計	-	-	-	128.0	-	27,777	-	24,722
加工用米	新設	20.3	16.3	16.3	単収増(乾田化)	566	600	34	5.5	-	-	-	-
				16.3	単収増(水管理改良)	566	577	11	1.8	-	-	-	-
					小計				7.3	156	1,139	86	980
				△4.0	作付減	-	-	566	△22.6	-	-	-	-
		小計	-	-	-	△22.6	156	△3,526	-	-			
	更新	20.3	20.3	20.3	単収増(水管理改良)	238	566	328	66.6	-	-	-	-
				小計	-	-	-	66.6	156	10,390	86	8,935	
				加工用米計	-	-	-	51.3	-	8,003	-	9,915	
そば	新設	0.6	-	△0.6	作付減	-	-	24	△0.1	-	-	-	-
					小計	-	-	-	△0.1	263	△26	-	-
					そば計	-	-	-	△0.1	-	△26	-	-

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③= ①×②÷100	生産物単価 ④	増 加 粗 収 益 額 ⑤=③×④	純 益 率 ⑥	年 効 果 額 ⑦=⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせ単収	事業ありせば単収	効果定対象単収 ②					
大豆	新設	ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
		0.5	-	△0.5	作付減	-	-	100	△ 0.5	-	-	-	-
				小 計	-	-	-	△ 0.5	164	△82	-	-	
	更新	0.5	0.5	0.5	単収増 (湿潤かんがい)	93	100	7	0	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	0	164	0	88	0
				大豆計	-	-	-	△ 0.5	-	△ 82	-	-	
えだまめ	新設	0.3	7.8	0.3	単収増 (乾田化)	256	550	294	0.9	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	0.9	520	468	91	426
				7.5	作付増	-	-	550	41.3	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	41.3	520	21,476	17	3,651
	更新	0.3	0.3	0.3	単収増 (湿潤かんがい)	233	256	23	0.1	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	0.1	520	52	91	47
								えだまめ計	-	-	-	42.2	-
ねぎ	新設	-	0.5	0.5	作付増	-	-	3,200	16.0	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	16.0	293	4,688	16	750
								ねぎ計	-	-	-	16.0	-
たまねぎ	新設	-	0.5	0.5	作付増	-	-	2,835	14.2	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	14.2	76	1,079	16	173
								たまねぎ計	-	-	-	14.2	-
ほうれんそう	新設	-	0.6	0.6	作付増	-	-	2,409	14.5	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	14.5	494	7,163	16	1,146
								ほうれんそう計	-	-	-	14.5	-
水田計	新設	56.0	60.0	/	/	/	/	/	/	35,743	/	10,120	
	更新	54.6	54.6	/	/	/	/	/	/	34,855	/	30,710	
キャベツ	新設	-	1.0	1.0	作付増	-	-	1,441	14.4	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	14.4	56	806	16	129
								キャベツ計	-	-	-	14.4	-
だいこん	新設	-	0.2	0.2	作付増	-	-	3,087	6.2	-	-	-	-
					小 計	-	-	-	6.2	73	453	12	54
								だいこん計	-	-	-	6.2	-
普通畑計	新設	-	1.2	/	/	/	/	/	/	1,259	/	183	
	更新	-	-	/	/	/	/	/	/	-	/	-	
新設		/	/	/	/	/	/	/	/	37,002	/	10,303	
更新		/	/	/	/	/	/	/	/	34,855	/	30,710	
合計		/	/	/	/	/	/	/	/	71,857	/	41,013	

- ・ 作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり
- 「現況作付面積」 ・ 関係町の作付実績に基づき決定した。
- 「計画作付面積」 ・ 新設整備では、県、関係町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
- ・ 更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。

- ・単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
- 「事業なかりせば単収」
  - ・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
  - ・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
- 「事業ありせば単収」
  - ・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
  - ・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
- 「効果算定対象単収」
  - ・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。  
(作付増においては地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 : 農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

## (2) 営農経費節減効果

### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稻、加工用米、大豆、えだまめ、ねぎ、たまねぎ、ほうれんそう、キャベツ、だいこん

### ○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

### ○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果 発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
水稻 (区画整理) 小区画→ 大区画・大型	円 3,410,017	円 782,502	円 -	円 -	円 2,627,515	ha 33.0	千円 86,708
水稻 (区画整理) 30a区画→ 大区画・大型	3,342,317	779,240	-	-	2,563,077	1.3	3,332
加工用米 (区画整理) 小区画→ 大区画・大型	3,410,017	782,565	-	-	2,627,452	15.7	41,252
加工用米 (区画整理) 30a区画→ 大区画・大型	3,342,317	792,317	-	-	2,550,000	0.6	1,531
水稻 (用水改良) 小区画	-	-	3,326,905	3,410,016	△83,111	32.9	△ 2,734
水稻 (用水改良) 30a区画	-	-	3,265,524	3,342,317	△76,793	1.4	△ 108
加工用米 (用水改良) 小区画	-	-	3,326,905	3,410,016	△83,111	19.5	△ 1,621
加工用米 (用水改良) 30a区画	-	-	3,265,524	3,342,317	△76,793	0.8	△ 61

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効 果 発 生 面 積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
大豆 (用水改良) 小区画	円 -	円 -	円 754,337	円 837,448	円 △83,111	ha 0.5	千円 △ 42
えだまめ (区画整理) 小区画→ 30a区画・大型	1,874,269	1,618,440	-	-	255,829	7.8	1,995
えだまめ (用水改良) 小区画	-	-	1,791,158	1,874,269	△83,111	0.3	△ 25
ねぎ (区画整理) 小区画→ 30a区画・大型	4,958,657	4,394,935	-	-	563,722	0.5	282
たまねぎ (区画整理) 小区画→ 30a区画・大型	2,106,347	1,601,592	-	-	504,755	0.5	252
ほうれんそう (区画整理) 小区画→ 30a区画・大型	5,445,862	4,727,400	-	-	718,462	0.6	431
キャベツ (区画整理) 小区画→ 30a区画・大型	1,752,348	1,643,705	-	-	108,643	1.0	109
だいこん (区画整理) 小区画→ 30a区画・大型	2,052,016	1,768,760	-	-	283,256	0.2	57
新 設							135,949
更 新							△4,591
合 計							131,358

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、秋田県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、秋田県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

### (3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

取水施設、用水路、排水路、農道

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		19,214	13,330	5,884
更新整備		7,631	19,214	△ 11,583
合 計				△ 5,699

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

#### (4) 耕作放棄防止効果

○効果の考え方

事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）に耕作放棄の発生が想定される農地が有している作物生産量及び多面的機能をもって年効果額を算定した。

○対象工種

区画整理

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば発生が想定される耕作放棄地が有している作物生産及び多面的機能の総効果額×還元率

○年効果額の算定

区 分	総効果額 ①	割引率	効果算定 期間	還元率 ②	年効果額 ③＝①×②
	千円		年		千円
新設整備	6,011	0.04	48	0.0472	284

・ 総効果額 : 単位面積当たり効果額を基に、各年の事業なかりせば発生する耕作放棄面積を乗じた年別効果額に割引率を適用して算定した割引後の年別効果額を総計して算定した。

・ 還元率 : 総効果額を効果算定期間における年効果額に換算するための係数。

## (5) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

### ○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稻、加工用米、そば、大豆、えだまめ、ねぎ、たまねぎ、ほうれんそう、キャベツ、だいこん

### ○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額（原単位）  
 + 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

### ○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額（円/千円） ③	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千kcal） ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	37,002	20,868	49	9.9	2,020
更新整備	34,855	544,488	49	9.9	7,098
合計	71,857	565,356			9,118

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額  
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

### 3 評価に使用した資料

#### 【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 耕作放棄防止効果のうち中山間地域における「多面的機能に係る効果」の算定手法の解説について（令和6年4月1日付け農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

#### 【費用】

- ・ 当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、秋田県農林水産部農山村振興課調べ

#### 【便益】

- ・ 東北農政局統計部（令和元年～5年）「第66～70次東北農林水産統計年報」東北農政局統計部
- ・ 農林水産省統計部（平成22、27年、令和2年）「平成22、27年、令和2年農林業センサス秋田県統計書」農林水産統計協会
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、秋田県農林水産部農山村振興課調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名: 福島県)(地区名: 平沢)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・ 農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・ 地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・ 当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 環境との調和に配慮していること。	・ 当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
5. 事業の採択要件を満たしていること。	・ 事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の( )には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名:福島県)(地区名:平沢)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,895	A
			スマート農業技術等の導入	—	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	72.1	A
			①担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg	1,998	A
			②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	割	4	
	産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	皆増	A	
		②高収益作物の作付面積の増加率	%	皆増		
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	89.4	A
			担い手への面的集積率	%	98.8	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	100.8	A
②作付率の増加ポイント	%	0.0				
農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,702	A	
	農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話し合い	—	○ ○	A	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	○	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	○	A	
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a a	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する関係市町村の同意状況 ②事業推進協議会から着工要望の提出 ③維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ④事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	○ ○	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	100.0	A

## 平沢地区の事業の効用に関する説明資料

### 1 総費用総便益比の算定

#### (1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	1,574,749
当該事業による費用	②	1,207,140
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	367,609
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	46年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	1,807,365
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.14

#### (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業 による費 用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
当該 事業	区画整理	0	1,207,140	-	135,173	56,422	1,285,891
	計	0	1,207,140	-	135,173	56,422	1,285,891
そ の 他	用水路	73,494	-	-	179,128	21,728	230,894
	堰	15,766	-	-	47,729	5,531	57,964
	計	89,260	-	-	226,857	27,259	288,858
合 計		89,260	1,207,140	-	362,030	83,681	1,574,749

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 ( 便 益 ) 額	効果の要因
<b>食料の安定供給の確保に関する効果</b>			
作物生産効果		38,955	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		51,944	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 3,165	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
<b>農村の振興に関する効果</b>			
非農用地等創設効果		1,546	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での公共用地等の用地調達経費が節減する効果
<b>その他の効果</b>			
国産農産物安定供給効果		7,216	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		96,496	

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果		計		同 左 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割 合 (%) ④	年 発 生 効 果 額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		
1	R8	1.0400	1	31,751	7,204	0.0	0	31,751	30,530	
2	R9	1.0816	2	31,751	7,204	0.0	0	31,751	29,356	
3	R10	1.1249	3	31,751	7,204	8.9	641	32,392	28,795	
4	R11	1.1699	4	31,751	7,204	53.9	3,883	35,634	30,459	
5	R12	1.2167	5	31,751	7,204	98.9	7,125	38,876	31,952	
6	R13	1.2653	6	31,751	7,204	99.4	7,161	38,912	30,753	
7	R14	1.3159	7	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	29,603	
8	R15	1.3686	8	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	28,463	
9	R16	1.4233	9	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	27,369	
10	R17	1.4802	10	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	26,317	
11	R18	1.5395	11	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	25,304	
12	R19	1.6010	12	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	24,332	
13	R20	1.6651	13	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	23,395	
14	R21	1.7317	14	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	22,495	
15	R22	1.8009	15	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	21,631	
16	R23	1.8730	16	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	20,798	
17	R24	1.9479	17	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	19,998	
18	R25	2.0258	18	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	19,229	
19	R26	2.1068	19	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	18,490	
20	R27	2.1911	20	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	17,779	
21	R28	2.2788	21	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	17,095	
22	R29	2.3699	22	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	16,437	
23	R30	2.4647	23	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	15,805	
24	R31	2.5633	24	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	15,197	
25	R32	2.6658	25	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	14,613	
26	R33	2.7725	26	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	14,050	
27	R34	2.8834	27	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	13,510	
28	R35	2.9987	28	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	12,991	
29	R36	3.1187	29	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	12,491	
30	R37	3.2434	30	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	12,011	
31	R38	3.3731	31	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	11,549	
32	R39	3.5081	32	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	11,104	
33	R40	3.6484	33	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	10,677	
34	R41	3.7943	34	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	10,267	
35	R42	3.9461	35	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	9,872	
36	R43	4.1039	36	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	9,492	
37	R44	4.2681	37	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	9,127	
38	R45	4.4388	38	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	8,776	
39	R46	4.6164	39	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	8,438	
40	R47	4.8010	40	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	8,114	
41	R48	4.9931	41	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	7,802	
42	R49	5.1928	42	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	7,502	
43	R50	5.4005	43	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	7,213	
44	R51	5.6165	44	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	6,936	
45	R52	5.8412	45	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	6,669	
46	R53	6.0748	46	31,751	7,204	100.0	7,204	38,955	6,413	
合計 (総便益額)									791,199	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 2,808	54,752	0.0	0	△ 2,808	△ 2,700	
2	R9	1.0816	2	△ 2,808	54,752	0.0	0	△ 2,808	△ 2,596	
3	R10	1.1249	3	△ 2,808	54,752	8.9	4,873	2,065	1,836	
4	R11	1.1699	4	△ 2,808	54,752	53.9	29,511	26,703	22,825	
5	R12	1.2167	5	△ 2,808	54,752	98.9	54,150	51,342	42,198	
6	R13	1.2653	6	△ 2,808	54,752	99.4	54,423	51,615	40,793	
7	R14	1.3159	7	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	39,474	
8	R15	1.3686	8	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	37,954	
9	R16	1.4233	9	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	36,495	
10	R17	1.4802	10	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	35,093	
11	R18	1.5395	11	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	33,741	
12	R19	1.6010	12	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	32,445	
13	R20	1.6651	13	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	31,196	
14	R21	1.7317	14	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	29,996	
15	R22	1.8009	15	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	28,843	
16	R23	1.8730	16	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	27,733	
17	R24	1.9479	17	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	26,667	
18	R25	2.0258	18	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	25,641	
19	R26	2.1068	19	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	24,655	
20	R27	2.1911	20	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	23,707	
21	R28	2.2788	21	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	22,794	
22	R29	2.3699	22	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	21,918	
23	R30	2.4647	23	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	21,075	
24	R31	2.5633	24	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	20,265	
25	R32	2.6658	25	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	19,485	
26	R33	2.7725	26	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	18,735	
27	R34	2.8834	27	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	18,015	
28	R35	2.9987	28	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	17,322	
29	R36	3.1187	29	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	16,656	
30	R37	3.2434	30	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	16,015	
31	R38	3.3731	31	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	15,399	
32	R39	3.5081	32	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	14,807	
33	R40	3.6484	33	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	14,237	
34	R41	3.7943	34	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	13,690	
35	R42	3.9461	35	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	13,163	
36	R43	4.1039	36	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	12,657	
37	R44	4.2681	37	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	12,170	
38	R45	4.4388	38	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	11,702	
39	R46	4.6164	39	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	11,252	
40	R47	4.8010	40	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	10,819	
41	R48	4.9931	41	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	10,403	
42	R49	5.1928	42	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	10,003	
43	R50	5.4005	43	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	9,618	
44	R51	5.6165	44	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	9,248	
45	R52	5.8412	45	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	8,893	
46	R53	6.0748	46	△ 2,808	54,752	100.0	54,752	51,944	8,551	
合計 (総便益額)									914,888	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 6,019	2,854	0.0	0	△ 6,019	△ 5,788	
2	R9	1.0816	2	△ 6,019	2,854	0.0	0	△ 6,019	△ 5,565	
3	R10	1.1249	3	△ 6,019	2,854	8.9	254	△ 5,765	△ 5,125	
4	R11	1.1699	4	△ 6,019	2,854	53.9	1,538	△ 4,481	△ 3,830	
5	R12	1.2167	5	△ 6,019	2,854	98.9	2,823	△ 3,196	△ 2,627	
6	R13	1.2653	6	△ 6,019	2,854	99.4	2,837	△ 3,182	△ 2,515	
7	R14	1.3159	7	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 2,405	
8	R15	1.3686	8	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 2,313	
9	R16	1.4233	9	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 2,224	
10	R17	1.4802	10	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 2,139	
11	R18	1.5395	11	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 2,056	
12	R19	1.6010	12	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,977	
13	R20	1.6651	13	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,901	
14	R21	1.7317	14	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,828	
15	R22	1.8009	15	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,757	
16	R23	1.8730	16	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,690	
17	R24	1.9479	17	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,625	
18	R25	2.0258	18	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,562	
19	R26	2.1068	19	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,502	
20	R27	2.1911	20	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,444	
21	R28	2.2788	21	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,389	
22	R29	2.3699	22	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,335	
23	R30	2.4647	23	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,284	
24	R31	2.5633	24	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,235	
25	R32	2.6658	25	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,187	
26	R33	2.7725	26	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,142	
27	R34	2.8834	27	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,098	
28	R35	2.9987	28	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,055	
29	R36	3.1187	29	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 1,015	
30	R37	3.2434	30	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 976	
31	R38	3.3731	31	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 938	
32	R39	3.5081	32	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 902	
33	R40	3.6484	33	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 868	
34	R41	3.7943	34	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 834	
35	R42	3.9461	35	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 802	
36	R43	4.1039	36	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 771	
37	R44	4.2681	37	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 742	
38	R45	4.4388	38	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 713	
39	R46	4.6164	39	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 686	
40	R47	4.8010	40	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 659	
41	R48	4.9931	41	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 634	
42	R49	5.1928	42	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 609	
43	R50	5.4005	43	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 586	
44	R51	5.6165	44	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 564	
45	R52	5.8412	45	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 542	
46	R53	6.0748	46	△ 6,019	2,854	100.0	2,854	△ 3,165	△ 521	
合計 (総便益額)									△ 74,960	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	非農用地等創設効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	—	1,546	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	—	1,546	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	—	1,546	8.9	138	138	123	
4	R11	1.1699	4	—	1,546	53.9	833	833	712	
5	R12	1.2167	5	—	1,546	98.9	1,529	1,529	1,257	
6	R13	1.2653	6	—	1,546	99.4	1,537	1,537	1,215	
7	R14	1.3159	7	—	1,546	100.0	1,546	1,546	1,175	
8	R15	1.3686	8	—	1,546	100.0	1,546	1,546	1,130	
9	R16	1.4233	9	—	1,546	100.0	1,546	1,546	1,086	
10	R17	1.4802	10	—	1,546	100.0	1,546	1,546	1,044	
11	R18	1.5395	11	—	1,546	100.0	1,546	1,546	1,004	
12	R19	1.6010	12	—	1,546	100.0	1,546	1,546	966	
13	R20	1.6651	13	—	1,546	100.0	1,546	1,546	928	
14	R21	1.7317	14	—	1,546	100.0	1,546	1,546	893	
15	R22	1.8009	15	—	1,546	100.0	1,546	1,546	858	
16	R23	1.8730	16	—	1,546	100.0	1,546	1,546	825	
17	R24	1.9479	17	—	1,546	100.0	1,546	1,546	794	
18	R25	2.0258	18	—	1,546	100.0	1,546	1,546	763	
19	R26	2.1068	19	—	1,546	100.0	1,546	1,546	734	
20	R27	2.1911	20	—	1,546	100.0	1,546	1,546	706	
21	R28	2.2788	21	—	1,546	100.0	1,546	1,546	678	
22	R29	2.3699	22	—	1,546	100.0	1,546	1,546	652	
23	R30	2.4647	23	—	1,546	100.0	1,546	1,546	627	
24	R31	2.5633	24	—	1,546	100.0	1,546	1,546	603	
25	R32	2.6658	25	—	1,546	100.0	1,546	1,546	580	
26	R33	2.7725	26	—	1,546	100.0	1,546	1,546	558	
27	R34	2.8834	27	—	1,546	100.0	1,546	1,546	536	
28	R35	2.9987	28	—	1,546	100.0	1,546	1,546	516	
29	R36	3.1187	29	—	1,546	100.0	1,546	1,546	496	
30	R37	3.2434	30	—	1,546	100.0	1,546	1,546	477	
31	R38	3.3731	31	—	1,546	100.0	1,546	1,546	458	
32	R39	3.5081	32	—	1,546	100.0	1,546	1,546	441	
33	R40	3.6484	33	—	1,546	100.0	1,546	1,546	424	
34	R41	3.7943	34	—	1,546	100.0	1,546	1,546	407	
35	R42	3.9461	35	—	1,546	100.0	1,546	1,546	392	
36	R43	4.1039	36	—	1,546	100.0	1,546	1,546	377	
37	R44	4.2681	37	—	1,546	100.0	1,546	1,546	362	
38	R45	4.4388	38	—	1,546	100.0	1,546	1,546	348	
39	R46	4.6164	39	—	1,546	100.0	1,546	1,546	335	
40	R47	4.8010	40	—	1,546	100.0	1,546	1,546	322	
41	R48	4.9931	41	—	1,546	100.0	1,546	1,546	310	
42	R49	5.1928	42	—	1,546	100.0	1,546	1,546	298	
43	R50	5.4005	43	—	1,546	100.0	1,546	1,546	286	
44	R51	5.6165	44	—	1,546	100.0	1,546	1,546	275	
45	R52	5.8412	45	—	1,546	100.0	1,546	1,546	265	
46	R53	6.0748	46	—	1,546	100.0	1,546	1,546	254	
合計 (総便益額)									27,490	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	6,585	631	0.0	0	6,585	6,332	
2	R9	1.0816	2	6,585	631	0.0	0	6,585	6,088	
3	R10	1.1249	3	6,585	631	8.9	56	6,641	5,904	
4	R11	1.1699	4	6,585	631	53.9	340	6,925	5,919	
5	R12	1.2167	5	6,585	631	98.9	624	7,209	5,925	
6	R13	1.2653	6	6,585	631	99.4	627	7,212	5,700	
7	R14	1.3159	7	6,585	631	100.0	631	7,216	5,484	
8	R15	1.3686	8	6,585	631	100.0	631	7,216	5,273	
9	R16	1.4233	9	6,585	631	100.0	631	7,216	5,070	
10	R17	1.4802	10	6,585	631	100.0	631	7,216	4,875	
11	R18	1.5395	11	6,585	631	100.0	631	7,216	4,687	
12	R19	1.6010	12	6,585	631	100.0	631	7,216	4,507	
13	R20	1.6651	13	6,585	631	100.0	631	7,216	4,334	
14	R21	1.7317	14	6,585	631	100.0	631	7,216	4,167	
15	R22	1.8009	15	6,585	631	100.0	631	7,216	4,007	
16	R23	1.8730	16	6,585	631	100.0	631	7,216	3,853	
17	R24	1.9479	17	6,585	631	100.0	631	7,216	3,705	
18	R25	2.0258	18	6,585	631	100.0	631	7,216	3,562	
19	R26	2.1068	19	6,585	631	100.0	631	7,216	3,425	
20	R27	2.1911	20	6,585	631	100.0	631	7,216	3,293	
21	R28	2.2788	21	6,585	631	100.0	631	7,216	3,167	
22	R29	2.3699	22	6,585	631	100.0	631	7,216	3,045	
23	R30	2.4647	23	6,585	631	100.0	631	7,216	2,928	
24	R31	2.5633	24	6,585	631	100.0	631	7,216	2,815	
25	R32	2.6658	25	6,585	631	100.0	631	7,216	2,707	
26	R33	2.7725	26	6,585	631	100.0	631	7,216	2,603	
27	R34	2.8834	27	6,585	631	100.0	631	7,216	2,503	
28	R35	2.9987	28	6,585	631	100.0	631	7,216	2,406	
29	R36	3.1187	29	6,585	631	100.0	631	7,216	2,314	
30	R37	3.2434	30	6,585	631	100.0	631	7,216	2,225	
31	R38	3.3731	31	6,585	631	100.0	631	7,216	2,139	
32	R39	3.5081	32	6,585	631	100.0	631	7,216	2,057	
33	R40	3.6484	33	6,585	631	100.0	631	7,216	1,978	
34	R41	3.7943	34	6,585	631	100.0	631	7,216	1,902	
35	R42	3.9461	35	6,585	631	100.0	631	7,216	1,829	
36	R43	4.1039	36	6,585	631	100.0	631	7,216	1,758	
37	R44	4.2681	37	6,585	631	100.0	631	7,216	1,691	
38	R45	4.4388	38	6,585	631	100.0	631	7,216	1,626	
39	R46	4.6164	39	6,585	631	100.0	631	7,216	1,563	
40	R47	4.8010	40	6,585	631	100.0	631	7,216	1,503	
41	R48	4.9931	41	6,585	631	100.0	631	7,216	1,445	
42	R49	5.1928	42	6,585	631	100.0	631	7,216	1,390	
43	R50	5.4005	43	6,585	631	100.0	631	7,216	1,336	
44	R51	5.6165	44	6,585	631	100.0	631	7,216	1,285	
45	R52	5.8412	45	6,585	631	100.0	631	7,216	1,235	
46	R53	6.0748	46	6,585	631	100.0	631	7,216	1,188	
合計（総便益額）									148,748	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

## 2 年効果額の算定方法

### (1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、さといも、ほうれんそう、ばれいしょ、ねぎ、落花生、ブロッコリー、かぼちゃ

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額<sup>※1</sup>＋作付増減年効果額<sup>※2</sup>

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）×単価×単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）×単収×単価×作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥	
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収 kg/10a	事業ありせば単収 kg/10a	効果対象単収 kg/10a						②
水稻	新設	ha	ha	ha	単収増 (水管理改良)	610	622	12	4.8	-	-	-	-	
		45.4	40.0	40.0	小計	-	-	-	4.8	222	1,066	89	949	
				△5.4	作付減	-	-	610	△32.9	-	-	-	-	
	更新				小計	-	-	-	△32.9	222	△7,304	-	-	
		45.4	45.4	45.4	単収増 (水管理改良)	256	610	354	160.7	-	-	-	31,751	
					小計	-	-	-	160.7	222	35,675	89	31,751	
				水稻計	-	-	-	132.6	-	29,437	-	32,700		
さといも	新設	-	1.0	1.0	作付増	-	-	969	9.7	-	-	-	-	
					小計	-	-	-	9.7	369	3,579	31	1,109	
					さといも計	-	-	-	9.7	-	3,579	-	1,109	
ほうれんそう	新設	-	0.7	0.7	作付増	-	-	1,154	8.1	-	-	-	-	
					小計	-	-	-	8.1	604	4,892	16	783	
					ほうれんそう計	-	-	-	8.1	-	4,892	-	783	
ばれいしょ	新設	-	0.3	0.3	作付増	-	-	1,945	5.8	-	-	-	-	
					小計	-	-	-	5.8	157	911	31	282	
					ばれいしょ計	-	-	-	5.8	-	911	-	282	
ねぎ	新設	-	2.3	2.3	作付増	-	-	1,841	42.3	-	-	-	-	
					小計	-	-	-	42.3	374	15,820	16	2,531	
					ねぎ計	-	-	-	42.3	-	15,820	-	2,531	
落花生	新設	-	0.4	0.4	作付増	-	-	379	1.5	-	-	-	-	
					小計	-	-	-	1.5	926	1,389	45	625	
					落花生計	-	-	-	1.5	-	1,389	-	625	
水田計	新設	45.4	44.7										20,353	6,279
	更新	45.4	45.4										35,675	31,751

さといも	新設	-	0.1	0.1	作付増 小計	-	-	821	0.8	-	-	-	-
										369	295	31	91
					さといも計	-	-	-	0.8	-	295	-	91
ほれんそう	新設	-	0.4	0.4	作付増 小計	-	-	978	3.9	-	-	-	-
										604	2,356	16	377
					ほれんそ う計	-	-	-	3.9	-	2,356	-	377
ブロッコリー	新設	-	0.3	0.3	作付増 小計	-	-	861	2.6	-	-	-	-
										396	1,030	16	165
					ブロッコ リー計	-	-	-	2.6	-	1,030	-	165
ねぎ	新設	-	0.2	0.2	作付増 小計	-	-	1,560	3.1	-	-	-	-
										374	1,159	16	185
					ねぎ計	-	-	-	3.1	-	1,159	-	185
ばれいしよ	新設	-	0.1	0.1	作付増 小計	-	-	1,649	1.6	-	-	-	-
										157	251	31	78
					ばれいしよ 計	-	-	-	1.6	-	251	-	78
かぼちゃ	新設	-	0.1	0.1	作付増 小計	-	-	718	0.7	-	-	-	-
										247	173	17	29
					かぼちゃ計	-	-	-	0.7	-	173	-	29
普通畑計	新設	-	1.2								5,264		925
	更新	-											
	新設										25,617		7,204
	更新										35,675		31,751
	合計										61,292		38,955

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり  
「現況作付面積」・関係市の作付実績に基づき決定した。  
「計画作付面積」・新設整備では、県、関係市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。  
・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり  
「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。  
・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。  
「事業ありせば単収」・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。  
・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。  
「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。  
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 : 農作物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

## (2) 営農経費節減効果

### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稲、さといも、ほうれんそう、ばれいしょ、ねぎ、落花生、ブロッコリー、かぼちゃ

### ○効果算定式

年効果額＝（事業なかりせば単位面積当たり営農経費－事業ありせば単位面積当たり営農経費）  
×効果発生面積

### ○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤＝ (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稲【100a】 担い手農家 (区画整理)	3,011,001	1,646,340	—	—	1,364,661	2.2	3,002
水稲【50a】 生産法人 (区画整理)	2,084,246	1,369,797	—	—	714,449	15.5	11,074
水稲【50a】 担い手農家 (区画整理)	3,011,001	1,654,059	—	—	1,356,942	12.4	16,826
水稲【50a】 個別農家 (区画整理)	3,959,797	2,574,655	—	—	1,385,142	2.2	3,047
水稲【30a】 生産法人 (区画整理)	2,084,246	1,385,070	—	—	699,176	3.0	2,098
水稲【30a】 担い手農家 (区画整理)	3,011,001	1,670,301	—	—	1,340,700	2.3	3,084
水稲【30a】 個別農家 (区画整理)	3,959,797	2,588,138	—	—	1,371,659	2.4	3,292
水稲 生産法人 (用水改良)	—	—	2,050,307	2,084,246	△33,939	7.9	△268
水稲 担い手農家 (用水改良)	—	—	2,967,927	3,011,001	△43,074	10.6	△457
水稲 個別農家 (用水改良)	—	—	3,882,344	3,959,797	△77,453	26.9	△2,083
さといも【30a】 担い手農家 (区画整理)水田	4,596,197	3,409,749	—	—	1,186,448	1.0	1,186
ほうれんそう【30a】 生産法人 (区画整理)水田	19,372,954	18,524,751	—	—	848,203	0.5	424
ほうれんそう【30a】 担い手農家 (区画整理)水田	19,652,742	18,617,654	—	—	1,035,088	0.2	207
ばれいしょ【30a】 担い手農家 (区画整理)水田	2,743,387	1,964,173	—	—	779,214	0.3	234
ねぎ【30a】 生産法人 (区画整理)水田	14,768,058	11,168,862	—	—	3,599,196	1.1	3,959

ねぎ【30a】 担い手農家 (区画整理)水田	15,084,036	11,232,185	—	—	3,851,851	1.2	4,622	
落花生【30a】 生産法人 (区画整理)水田	1,860,963	1,424,665	—	—	436,298	0.4	175	
さといも【30a】 担い手農家 (区画整理)畑	4,558,834	3,396,298	—	—	1,162,536	0.1	116	
ほうれんそう【30a】 担い手農家 (区画整理)畑	19,573,408	18,603,163	—	—	970,245	0.2	194	
ほうれんそう【30a】 個別農家 (区画整理)畑	19,907,169	18,866,078	—	—	1,041,091	0.2	208	
ブロッコリー【30a】 生産法人 (区画整理)畑	2,321,604	1,977,899	—	—	343,705	0.2	69	
ブロッコリー【30a】 個別農家 (区画整理)畑	3,119,583	2,377,511	—	—	742,072	0.1	74	
ねぎ【30a】 生産法人 (区画整理)畑	14,752,653	11,159,480	—	—	3,593,173	0.2	719	
ばれいしょ【30a】 担い手農家 (区画整理)畑	2,729,877	1,952,876	—	—	777,001	0.1	78	
かぼちゃ【30a】 担い手農家 (区画整理)畑	2,355,893	1,713,188	—	—	642,705	0.1	64	
新 設								54,752
更 新								△2,808
合 計								51,944

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、福島県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、福島県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

### (3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

頭首工、用水路、排水路、農道

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		9,285	6,431	2,854
更新整備		3,266	9,285	△ 6,019
合 計				△ 3,165

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

#### (4) 非農用地等創設効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、用地調達に要する経費の差をもって年効果額を算定した。

○算定対象

区画整理により創設された非農用地

○効果算定式

年効果額 = { 想定経費（事業なかりせば用地調達経費）  
－ 計画経費（事業ありせば用地調達経費） } × 還元率

○年効果額の算定

区 分	想定経費 ①	計画経費 ②	還元率 ③	年効果額 ④ = (① - ②) × ③
新設整備	千円 38,500	千円 610	0.0408	千円 1,546

- ・ 想定経費 : 区画整理を実施しなかった場合に想定される用地調達経費であり、近傍地区における実例を基に算定した。
- ・ 計画経費 : 区画整理を実施した場合における用地調達経費を算定した。
- ・ 還元率 : 施設等が有している総効果額を耐用年数期間（基本的に100年とする）に換算するための係数。

## (5) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

### ○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稻、さといも、ほうれんそう、ばれいしょ、ねぎ、落花生、ブロッコリー、かぼちゃ

### ○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額（原単位）  
 + 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

### ○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額（円/千円） ③	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千kcal） ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	25,617	△ 63,047	49	9.9	631
更新整備	35,675	488,528	49	9.9	6,585
合計	61,292	425,481			7,216

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額  
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

### 3 評価に使用した資料

#### 【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）〔改訂版〕「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

#### 【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、福島県農林水産部調べ

#### 【便益】

- ・ 東北農政局統計部（令和2年～5年）「第67～70次東北農林水産統計年報」東北農政局統計部
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、福島県農林水産部調べ